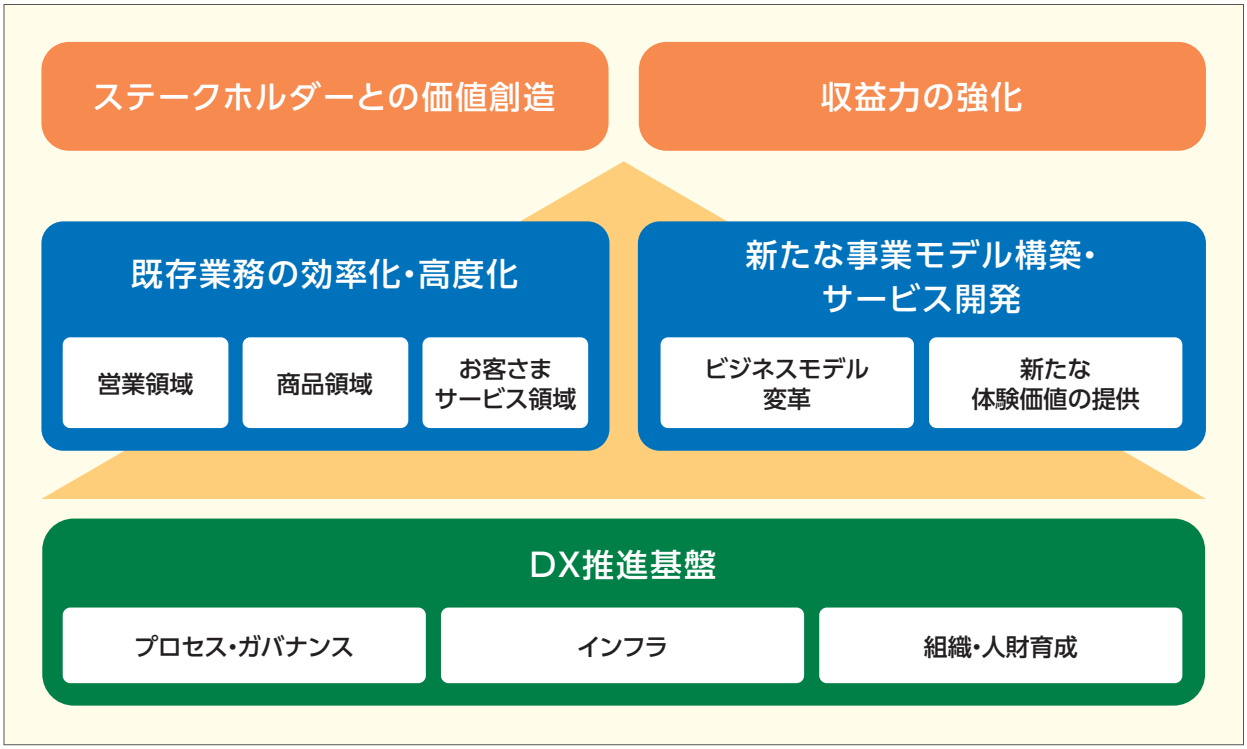
# DXの推進

当社では、中期経営計画の重点施策の１つとしてDX（デジタルトランスフォーメーション）を掲げています。当社におけるデジタライゼーションの全体像および具体的な取組内容を「DX実行計画」として策定し、積極的な取組みを実施しています。

ライフスタイル・ビジネススタイルの変化や社会全体のデジタル化が加速する中、デジタライゼーション取組みを通じて、既存業務の効率化･高度化とともに、新たな事業モデルの構築やサービスの開発により、競争力強化を図っていきます。

## 「DX実行計画」の全体像

「ステークホルダーとの価値創造」と「収益力の強化」の実現に向けて、「既存業務の効率化・高度化」「新たな事業モデル構築・サービス開発」「DX推進基盤」の各領域で取組みを進めています。




### 既存業務の効率化・高度化の取組み

デジタル技術を活用した既存業務の効率化や高度化に取り組んでいます。具体的には、営業部門におけるデータ利活用の促進、代理店における保険募集のサポート、スマートフォンをご利用のお客さま向けサービスの拡充などの取組みを進めています。

### 新たな事業モデル構築・サービス開発の取組み

デジタル技術の活用等による既存の事業モデルの変革、新たな事業モデルの検討・構築に取り組んでいます。また、お客さまや代理店に新たな体験価値を提供することをめざし、サービスの企画・開発を行っています。

### DX推進基盤の取組み

デジタライゼーション推進のためのインフラ整備として、データ分析基盤の利活用を進めています。社内外の多様なデータを蓄積し分析することで、業務品質の向上を図るとともに、社会課題の解決に資する付加価値の高い商品・サービスの開発に取り組んでいます。

人財育成の観点では、デジタルリテラシー向上とデジタルスキル底上げをめざし、全社員に「IT パスポート試験」の受験を推奨しています。また、「デジタル人財認定制度」を設け、「ビジネス・業務プロセスデザイン」「データ分析」の各領域において専門人財の育成を進めています。

## デジタライゼーション取組み例

### 全ての手続きをスマートフォンで完結できる<br>日本初の資産形成・運用型の生命保険商品『AHARA（アハラ）』の開発

全ての手続きをスマートフォンで完結できる資産形成・運用型の生命保険商品『AHARA（アハラ）』を開発しました。

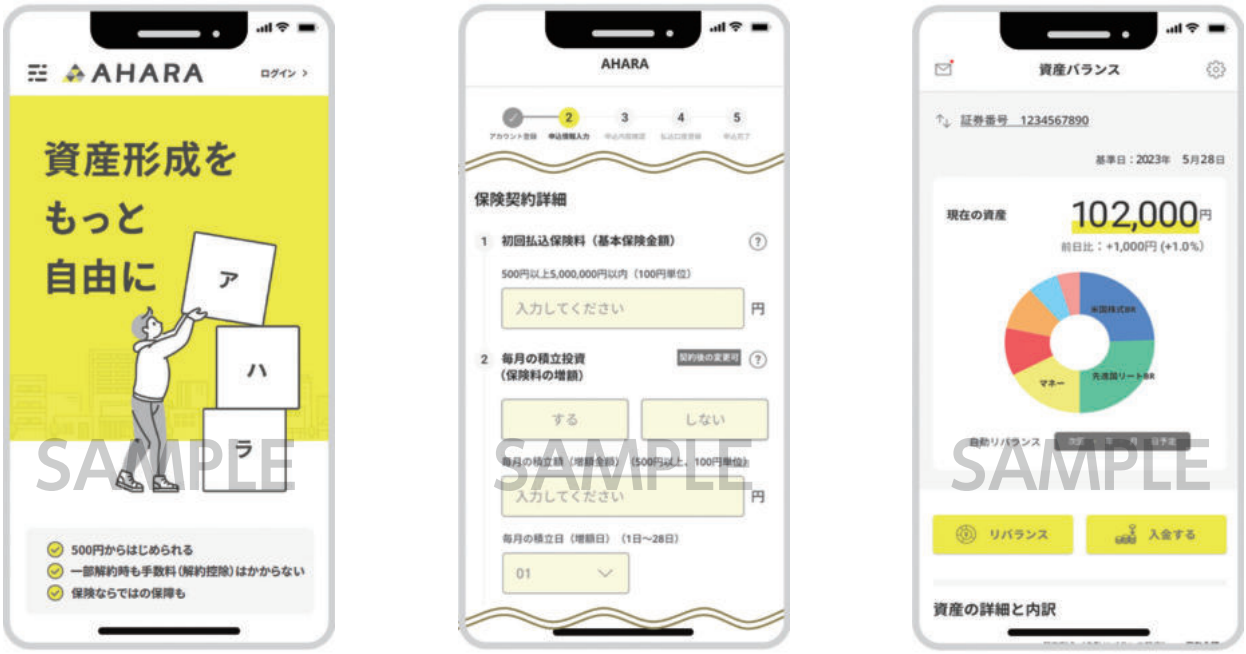
資産形成・運用型の生命保険商品は原則として対面での契約が必要でしたが、株式会社みんなの銀行がBaaS[※1]事業として外部提供を始めた参照系API／更新系API[※2]を活用することで、申込み手続きだけでなく契約内容の確認・変更、保険料の追加積立てなど、『AHARA（アハラ）』は全ての手続きをスマートフォンで完結できます。

今後も引き続き、既存事業へのデジタル技術の活用等によるビジネスモデルの変革に取り組みます。

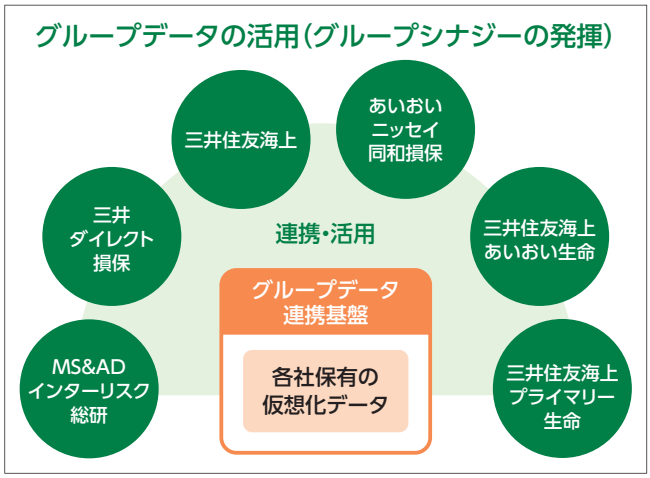
※1 BaaSとは「Banking as a Service」の頭文字を取った略称で、銀行が提供しているサービスや機能を、APIを利用して「クラウドサービス」として提供されることを指します。

※2 参照系とは、取引履歴や残高の確認など口座情報を参照するためのAPIです。更新系とは、口座振替など資金移動が発生する取引を扱うAPIです。

『AHARA（アハラ）』のスマートフォン画面イメージ




## MS&ADインシュアランス グループ各社とのデータ連携基盤の構築

MS&ADインシュアランス グループではデジタル技術を活用しながらお客さまや社会の課題を解決し顧客体験価値の向上を図るCSV×DX戦略を掲げて、新たなソリューションの創造と事業機会の創出に取り組んでいます。この戦略のさらなる推進をめざし、「グループデータ連携基盤」を2023年3月に開発しました。

グループ各社が保有するさまざまなデータを対象とし、特定の個人に識別できないよう「仮名加工情報」にして共有します。